

# 第2回

# 回覧

# 加納久宜公を語りあう会

## 平成30年2月24日(土)



受付 13:00~

第1部 話題提供 13:20~14:30

第2部 全体討論 14:45~15:30(予定)

150年前:最後の一宮藩藩主(19歳)  
維新~明治 ⇒多方面で先進的な活躍  
100年前:一宮町長を退任(69歳)  
⇒町政は模範として注目された

足跡や思いなどを語りあいましょう。

会場 :松涛軒(JR上総一宮駅前)  
参加費:無料 資料代:500円(学生無料)

主催:加納久宜公研究会  
後援:一宮町・一宮町教育委員会 他



第1回『加納久宜公を語りあう会』の様子

(予告)生誕170周年記念フォーラム  
平成30年4月22日(日)午後



第7回墓前祭の期間 (主催加納久宜公研究会)  
2月18日(日)~3月10日(土)  
町指定史跡『加納久宜公の墓』などを、生花で  
装飾します。みんなで花を手向けましょう。  
誰でもご自由にどうぞ。

献花式 2月24日(土) (主催:加納久宜公研究会)

10:30 玉前神社参拝

11:30 振武館前(城山公園)集合・献花  
(参加費無料 生花を一輪持参して下さい)

昼食交流会 同日(事前予約・会費制 2,000円)

12:15より 会場:松涛軒 予約締切:2月16日



写真は2017. 2. 25

連絡・申し込み先:加納久宜公研究会 林 E-mail [kanou138@gmail.com](mailto:kanou138@gmail.com)  
〒299-4301 長生郡一宮町一宮3603-2 Tel. 070-6406-1414 (Fax. 0475-42-2324)



# 一宮藩の最後の殿様 加納久宜(ひさよし)

①嘉永元年(1848) 東京下町の立花種道の下屋敷で生まれる(三男)。(1855 7歳)安政江戸地震で家の下敷きとなり、両親を亡くす。

②震災後は、下手渡藩主の立花種恭(実兄)に育てられる。慶応2年(1866)19歳で加納家の養子、一宮藩主となる。幕末の混乱を適切に対処する。

③廃藩置県後は、フランス語はじめ西洋の諸学を学ぶ。明治6年(1873 25歳) 文部省、岩手師範学校校長、新潟学校校長など、教育界で活躍。

④明治14年(1881 33歳)司法界に転身。大審院検事。明治23年(1890 42歳)貴族院議員に当選(子爵互選)。第1回帝国議会、有志会結成。

⑤明治27年(1894 46歳) 鹿児島県知事として、不偏不党の精神で人材育成や産業振興などに取り組み、西南戦争で疲弊した県を立て直す。

⑥明治35年(1902 54歳)鹿児島県知事を辞し、東京(大森)に戻る。教育・産業の振興などに積極的に取り組む。多分野で活躍する。

⑦明治45年(1912 64歳)旧領地の一宮町町長となり、人生の集大成として、自ら提唱する『地方改良運動』の模範を示そうと情熱を傾ける。

⑧大正7年(1918 70歳)町内有志により『紀徳之碑』が建立される。大正8年(1919 71歳)療養先の別府にある麻生太吉の別荘で亡くなる。

従二位勲二等子爵

日本農政の父

藍綬褒章

入新井信用組合設立

学習院設立を建議

産業組合

日本競馬会創設

公益事業

日本体育会を救済

十五銀行取締役

荏原中学設立 初代校長

荏原中学設立 初代校長

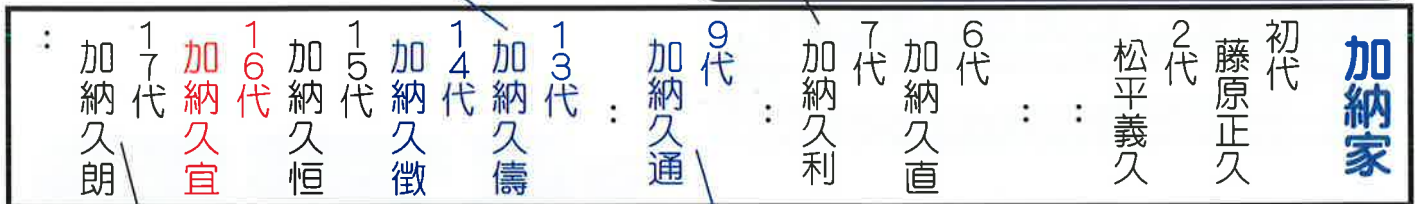


大森倶楽部

日本赤十字社監事

**一宮藩** 9代久通の江戸入りとともに、加納家と一宮との関係が始まった。  
13代:久備(ひさと) 陣屋を移し、一宮藩が成立した。(1826年)

7代:久利(ひさとし)  
・徳川頼宣(紀州徳川家の祖)に仕える。常陸水戸藩から駿河付中(静岡)藩へ、さらに紀伊和歌山(紀州藩)へと国替えする際には、それに従った。



17代:久朗(ひさあきら)  
・一宮町青年会 初代会長  
・横浜正金銀行ロンドン支店支配人  
・国際決済銀行取締役  
駐英大使の吉田茂を助ける(戦後)・日本住宅公団初代総裁  
・千葉県知事



9代:久通(ひさみち)  
・吉宗が8代将軍に就任した時(1716年)、幕臣として紀州から江戸へ移り、改革を支えた。  
NHK大河ドラマ 『八代将軍吉宗』(1995年) 加納久通を小林稔侍が演じる  
暴れん坊将軍(1978~2001年)では 爺(加納五郎左衛門忠久)のワル